

加茂地区 タウンミーティング開催報告

【日 時】 令和5年10月26日（木） 10：00～11：30
【場 所】 加茂公民館
【参加者】 地域： 7人（加茂地区地区連合自治会長など） 市： 3人（市長、建設部長、加茂公民館長）
【テーマ】
1 地区内の道路環境の整備
2 超高齢化が進む加茂地区での活動

概 要

【自治会長挨拶】
加茂には6つの集落がある。97人の住民のうち、70歳以上の割合が66%という超高齢化地区の現状を聞いていただき、加茂地区の課題解決に向けてご指導いただきたい。

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
1 地区内の道路環境の整備	
(1) 国道194号の清掃作業	
加茂地区の全自治会で国道194号の清掃作業をしていたが、コロナ禍で中止していた。今年か来年あたりに再開しようと考えたが、地域住民の高齢化が進み、また交通量が増えたこともあり、安全面の観点から道路上の清掃は難しいと判断した。 道路沿いに空き缶などを捨てる人が多く、今後どうしたらいいのだろうか。道路管理者に草刈の際、ポイ捨てごみの回収もお願いしたい。	行政としては194号利用促進同盟会を作り、利用促進のPRをしている。 また、国道194号の愛称を『そらやま街道』とし、石鎚山系を囲む西条市・久万高原町・いの町・大川村が連携して、UFOラインへ上がってもらうようPRしている。 スピードを出す車の取り締まりは警察の所管になるが、地域の皆さんの安全に繋がる抑止力になるので、警察と話す機会があれば進言していきたい。 清掃ボランティアについては、これ以上地域の皆さんに負担を強いるのも難しいと思うので、無理をしないでほしい。自治会内などの範囲でよいのではないか。 道路のポイ捨てごみについては、愛媛県に直接連絡されるか、本市建設部に連絡をいただければ愛媛県に共有する。
愛媛県からの委託業者が草刈した際、刈った草を放置されると土の肥やしになり、そこにまた草が生えて溝にも草が生える状態となる。	溝に草が詰まってオーバーフローしてはいけないので、愛媛県や国道194号利用促進同盟会の予算で対応できないか検討する。
(2) 藤之石の道路整備の進捗状況	
R3年度のタウンミーティング時に挙げた藤之石地区の道路整備の進捗状況はどうなっているか。	全面張り替えではないが、地元の方に立ち合ってもらって場所を確認し、部分補修をしている。R3年度から実施しており、3年目となる今年度分もこれから対応する。

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
2 超高齢化が進む加茂地区での活動	
(1) 下津池のトイレの管理	
<p>高齢化が進み清掃が難しくなってきたので、トイレを撤去してほしいと事前に伝えていたが、どのくらいの利用があるか自分達で調べてみたところ、止呂橋などたまに観光バスが入ってきているようなので、期限は言えないけれど、もう少しやってみようかと思う。</p> <p>衛生施設課の職員にその旨を伝えると、すぐに清掃道具を持ってきてくれた。</p> <p>また、トイレが男女ともに和式のため、手すりがあると座りやすいという声もある。</p> <p>この地区はもともと水不足の地域である。各家庭で飲料用水として使用している水を、先に公衆トイレで使われてしまうととても困る。</p>	<p>トイレのみならず、地域の皆さんにいろんなことに手をかけてもらっていることに改めて感謝を申し上げる。できなくなった時には遠慮なく伝えていただきたい。</p> <p>【後日確認】</p> <p>トイレで利用している水の取水経路を地元の方に案内してもらい、水を先にトイレで使用すると困る理由を確認した。</p> <p>公衆トイレで漏水等の不具合が発生した場合は、速やかに連絡していただければ、これまで同様対応することを説明した。</p>
(2) 高齢者の見守り	
<p>（発言者自身が）高齢者の「見守り分」を合わせて29人くらいを担当している。</p> <p>その内の7～8割が80歳を超えているが、民生委員である自分自身も高齢になってきたので、月に1度というよりは、何かある時に電話連絡して調子どうか等聞いている。</p> <p>路線バスもないこの地区では、ミニデいの送迎のため車の運転が必須となる。保険だけかけておこうと思うが、いつまでできるかわからない。</p>	<p>民生委員の皆さんの負担軽減を図るため、見守り対象者の年齢条件を引き上げた。</p> <p>対象者の人数は少しずつ減少しているものの、それでも大変だということであればまた相談してほしい。</p>
(3) 地域のイベント	
<p>地域のイベントも高齢化により地区や集落ごとに囲碁ボール等をしているくらいである。</p>	<p>以前、大保木地区では企業に協力いただき、運動会を実施してきた経緯があり、今年は公民館のほかに西条高校生が10人ほどボランティアとして参加してくれて、運動会（軽スポーツ）・文化祭・敬老会をまとめて1日で開催した。</p> <p>加茂地区でも、高校生がボランティアとして協力してくれるかもしれない。自分達だけでやるうするとしんどいと思うが、手伝ってもらえる人がいるならできるかどうか検討するののも一つの方法ではないか。</p>
(4) ごみに関すること	
<p>（令和5年度から）ごみ出しの制度が変わり、「ごみ分別ガイドブック」を参考にしている。</p> <p>粗大ごみについても、粗大ごみ処理券を購入し、連絡したら回収に来てくれるというが、ハードルが高くてまだ利用したことがない。</p>	<p>旧ごみ指定袋の使用期間を「2年」に設定することについても議論を重ねた。</p> <p>4月から新制度がスタートしたが、近所でも前の袋を使っている人が多いと感じている。</p> <p>不法投棄が増えるのではという心配の声も多かったが、そのような報告は上がってきていない。</p> <p>粗大ごみについては、処理券の購入にハードルを感じるかもしれないが、家まで回収に来てくれるので、この制度を活用していただきたい。（予約制）</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p>国道194号沿いにゴミを捨てる人がいるようだ。市報には「土地の所有者が責任を持って処理すること」と書いてあったが、本当は道路の管理者が処理するべきではないか。</p>	<p>以前は県外のトラック運転手が仕事帰りにゴミを捨てていたが、国道194号の交通量が増え、夜中の時間帯にもトラックが走っているの、捨てにくい状況になっているようだ。</p> <p>ごみステーションの管理は、自治会の皆様をお願いしている。その中で、他の地域から来て、勝手に捨てられるという声をよく聴く。道路沿いにあるごみステーションは、人や車通りが多いため捨てやすい状況にあるのだろう。</p> <p>対策として、ステーションの場所を道を1本ずらして人通りが少ない道沿いに変更した地域もあり、勝手に捨てられることが減少しているようだ。</p> <p>他にも指定ごみ袋への記名の徹底や監視カメラの設置、見張り番を立てるといったような対応をしている地域もある。</p> <p>地域によって問題が異なると思うので、個別に衛生課にご相談をいただきたい。</p>
<p>自分はもう使用しないがまだ使用可能なものや思い入れのある家具の処分がなかなか難しい。食器なども誰かが使ってくれるというのであれば手放しやすい。</p> <p>大きい家具を捨てたいが、ごみを増やすことになると思えばなかなか勇気がいる。</p> <p>ごみ袋有料化は仕方ないかもしれないが、誰かが使えて、ごみ処理費用も削減できる取り組みがあればSDGsの観点からも良いのではないか。</p> <p>西条市ではこんな取組しているとアピールしたら移住希望者が増えるのではないかと思う。</p>	<p>ごみ袋を有料化しても、収入は約1億円の見込みで、処理費用自体は約11億円を要している。</p> <p>思い入れのある家具や食器を処分しづらいものは、街中にあるリユースショップなどを利用してもらいたい。民間の力を借りながらお願いしたい。</p>
<p>(5) その他</p>	
<p>4～5年前の話になるが、自分が所有する山に、道から40mくらい下に塗料缶を捨てられていた。一度市役所に行ってから、警察にも相談に行った。誰が捨てたのかわからない。</p> <p>今は通行止めにして、監視カメラを設置している旨を記載した看板を置いてくれている。</p> <p>中身が入っていたら、下まで転がる時に川へ入ってしまう。</p>	<p>一旦預らせていただき、衛生課につなぐ。 【後日担当課に確認】</p> <p>当時、建設道路課でバリケードを設置。看板にも連絡先を記載している。警察も現場確認を行ったが、持ち主不明。</p> <p>今回、改めて衛生課が現場を確認。目視で約10個の一斗缶が転がっているのを確認するも、傾斜地のため危険で内容物を確認できず。</p> <p>衛生課から改めて2年前の建設道路課の対応と、土地所有者に対応する旨を伝え、了承を得た。</p>

<開催の様子>

